

評価項目		具体的目標	具体的施策	重点目標との関連	評価	課題及び次年度の改善策
相談支援部	校外支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門性の向上を図り、本校のセンター的機能の推進及び校内外の児童生徒に関する相談や支援の充実に努める。 ・近隣の学校や地域の人々へ本校の魅力ある取り組みを発信し、開かれた学校づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管轄市町村教育委員会や外部専門家と情報共有の機会を設け、積極的に連携を図りながら、地域の幼児教育施設や小・中学校、高等学校等の教育的ニーズに応じた支援の充実に努める。 	⑱		
	校内支援		<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談において事前事後にケース検討会を設定したり、係内研修を実施したりすることで、特別支援教育コーディネーターとしての資質向上に努める。 	①⑱		
	交流・共同学習 地域貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒についてケース会議や校内支援会議を実施し、情報の共有や支援方法の充実に努める。 ・勉強会を通して、ケース会議の意味や方法を再確認する。校内支援体制の一層の充実にめざし、各学部に情報提供して共通理解を図る。 ・交流及び共同学習の意義・目的に対しての理解啓発に努め、コロナ禍における新しい交流及び共同学習の方法や内容を検討し、実施につなげられるようにする。 ・校内壁面や「ふれあい掲示板」、ホームページを効果的に活用し、地域の人々や保護者等に本校の取り組みを発信する。また、地域清掃を継続して実施し、地域の美化に努める。 	①⑱⑲⑳ ①㉔ ⑳㉔		
教務部	教育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の教育活動の充実に努める。 ・各部、各分掌部と連携を密にし、円滑な学校運営に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の改訂を踏まえて教育課程の検討・見直しを行う。個別的教育支援計画、個別の指導計画の活用について検討する。 	①②③④ ⑤⑥⑱		
	若手研修・中堅教諭等 資質向上 研修		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の教育活動の運営全般において、計画調整を行い、各部、各校務分掌部と連携・計画調整し教育活動の充実に努める。 ・校内若手教員研修を計画的に実施する。また、若手教員研修及び中堅教諭等資質向上研修の目的・意義の周知を図り、全教職員の指導及び助言によるOJT機能を生かした研修を行うとともに、若手教員のニーズやワークショップ形式の研修も取り入れることで実践的指導力を養い、充実した研修となるように努める。 ・各年次の研究テーマに基づいた授業研究を実施することができるよう、協力体制の調整及び指導・助言を行う。授業反省会では、テーマを設けることで協議を深められるようにし、授業力の育成及び向上につながるようにする。 	①②③④ ⑤⑥⑱ ②⑱ ①②③④⑤ ⑬⑭⑮⑱		
	体験入学		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会等の外部関係機関や校内関係分掌、部と連携を図るとともに、ホームページを活用し、体験入学に関する情報を発信し、体験入学を円滑に実施できるよう努める。 ・校内関係分掌、小学部教育相談と連携して情報共有を行い、入学にあたっての諸準備が円滑に行えるようにする。 	⑱ ⑱		
	教科書・図書		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書採択を県や本校の評価に沿って、組織的、計画的に行い児童生徒の実態に合った適切な採択に努める。 ・図書委員会の生徒と連携し学校図書館の紹介、整理、廃棄を積極的に行い学校図書館の円滑な運営を図るように努める。 	⑤⑥ ③⑤		
	表簿		<ul style="list-style-type: none"> ・新規の帳簿等の作成と各帳簿の校閲を速やかに行う。(出席簿・会計簿・指導要録) ・書庫内の帳簿等の管理及び保存期間を過ぎた書類等の整理・整頓をし、廃棄の際は適切に行えるように準備する。 	⑮ ⑮		
	情報教育		<ul style="list-style-type: none"> ・PCやタブレット端末を円滑に利用できる環境を目指して管理を行い、機器の充実に努め、効果的な運用を行えるようにする。 ・タブレット端末を活用した授業実践に向けて、研修や実践を計画的に行うことができるように努める。 	③ ③		
	保健安全部		保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画、性に関する指導の年間指導計画に基づき、児童生徒の健康指導、健康管理の充実に努める。 ・環境教育年間活動計画に基づき、校舎内外の環境美化に努める。 ・学校安全計画に基づき、学校における安全教育と安全管理の充実に努める。 ・学校給食年間指導計画、食に関する指導全体計画に基づき、食育の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教急法実技講習会、坐業挿入及び吐物処理等の研修会及びシミュレーション訓練を計画的に実施し、日常生活の中で起こりうる様々な事態に対応する力や知識の向上を図る。 ・保健に関する指導や性に関する指導について、教材や指導内容・方法等の情報提供や情報交換を行い、実際の指導に活用することで保健指導の充実に努める。 	⑦⑩ ②⑥⑦⑩
環境教育		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃分担区域の検討及び分担計画の作成、校舎内外の清掃状況の確認や用具等の補充及び整理を定期的に行い、適切な環境が保たれるようにしていく。 ・各部の作業学習班と連携した花壇等の管理や職員作業を計画的に実施し、校舎内外の環境美化に努める。 	⑧⑲ ⑧⑲			
防災安全		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等の見直しを定期的に行い、安全・安心な学校作りを努めるとともに、災害時に対応できる体制作りを努める。 ・避難訓練や引き渡し訓練、防災リュックの確認等をとおして、児童生徒及び保護者が防災教育の大切さをより深く理解できるようにする。 ・関係機関や近隣地域と連携をより深め、他の特別支援学校と情報交換を図りながら、安全管理の充実に努める。 	⑧⑲ ⑨ ⑧⑨⑲			
給食・食育		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を中心とした、各部学年の実態に応じた食に関する指導を推進するとともに、コロナ感染症予防に即した給食時の対応の注意喚起に努める。 ・食物アレルギーへの給食対応や再調理食提供について、医師の診断書を基に食育委員会で検討し、手続きを行う。保護者の同意、教職員と共通理解をもって確実な対応を継続して行う。 	⑦ ⑦			

研究研修部	研究推進	研究テーマ「日々、授業改善」のもと、学習指導要領の改訂及び令和2年度の研究成果を踏まえ、本校における「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業づくりを行う。	・少人数のグループ研究を設定し、授業改善に向けて協議・検討する。 ・「日々、授業改善」に取り組むことができるツールを活用し、個々の教師が日々の授業改善を行う。 ・特別支援教育充実事業（専門家派遣）を活用し、専門性の向上や日々の授業実践に活かす研究を行う。	①②③④⑬⑭ ④⑤⑬		
	現職教育	・研修会を通して、特別支援教育に関する教員の専門性の向上や人権に関する理解啓発を図る。	・特別支援教育に関する教員の専門性や人権に関する内容の研修会を実施し、教員としての資質能力及び専門的知識を向上させ、日々の実践に活かせるようにする。	⑬⑱		
学習指導部	日常生活の指導	・児童生徒へのよりよい指導支援や分かりやすい授業づくりの下支えとなる教材・教具の整理と活用に努める。 ・各教科領域の年間指導計画について、学習指導要領の改訂の要点を踏まえ、書式や活動内容等についての見直しや検討を行う。	・生活訓練室と浴室の点検・清掃を定期的に行い、授業や行事での活用を図る。 ・新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式をふまえた年間指導計画の作成、指導内容・方法の見直しを行う。	③④⑤⑥⑩		
	生活単元学習遊びの指導		・様々な学習で活用することができるように、教材の整理・管理を行い、視覚化を図る。 ・新学習指導要領の改訂の要点をもとに、年間指導計画の確認を行う。	③④⑤⑥⑧		
	国語		・校内の国語科に関する教材教具の管理や整理を行い、活用に努める。 ・国語科に関する教材教具の活用方法や情報交換を行い、校内で共有できるようにする。	③④⑤⑥		
	算数・数学		・校内の算数科に関する教材教具の管理及び整理と活用に努める。 ・教材教具の展示・紹介に向けて、係間で情報交換等を行、教材の活用法を提案する。	③④⑤⑥		
	社会		・学習指導要領のポイントをもとに、年間指導計画や指導内容の改善を図る。 ・授業内容や教材に関する情報交換を行い、校内で共有できるようにする。	③④⑤⑬⑭		
	自立活動		・セラピスト等学校訪問事業では、各専門家との連携を図り、児童生徒の自立活動の指導等に必要な助言を受けたり相談したりできるようにする。 ・自立活動手順シートの内容確認と有効活用へ向けての連絡・情報交換等を行う。	①②⑬⑭⑱		
	体育・保健体育		・児童生徒の運動技能について記録し、学年間・学部間で共有できるようにする。 ・用具の点検や備品、消耗品のチェックを行い、安全管理に努める。	②⑥		
	職業・家庭		・学習指導要領の改訂の要点を踏まえ、年間指導計画の見直しや授業内容の検討を行う。 ・生活単元学習係と連携し学習内容の系統性を図る。 ・各調理室の備品等整理と調理室以外にある教材教具の調査及び管理場所の検討と確保をする。	⑤⑥		
	音楽		・学習指導要領の改訂の要点をふまえ、授業や年間指導計画の検討・改善を行う。 ・音楽室の整理整頓、楽器の数等の確認をし、楽器や音楽室を活用しやすくする。	③⑤⑥		
	図工・美術		・教材教具一覧表を活用し、指導書や材料、用具など教材教具の周知と有効活用に努める。 ・各種美術展覧会や作品展へ積極的に出展し、児童生徒の作品を学校外へ展示する機会を設ける。	②③⑤⑭⑱		
	特別活動		・部集会の企画・運営を円滑に行う。 ・クラブ活動、委員会活動、生徒会活動などを通して児童生徒同士の交流を図り、児童生徒の人とかかわる力を育む。	④⑤⑥		
	総合的な学習の時間		・年間指導計画の内容を確認し、各学年で活用しやすくする。 ・各部の授業内容や教材教具等の展示・紹介を行い、授業改善に生かせるようにする。	③④⑤⑭⑱ ⑳		
	外国語		・外国語活動に取り組むことができるように、ALTを活用した授業を展開する。 ・教材教具の整理をすするとともに、教材教具の活用方法についても検討する。	②⑤		
	道徳		・教材・教具や授業の内容、年間指導計画などの確認・検討を行う。 ・学校教育全体において、道徳の目標を意識しながら道徳教育の充実を図る。	②⑤⑥⑬		
作業学習	・各部の作業学習に関する情報交換を行い、生徒の作業能力の向上を目指した授業づくりに努める。	④⑤⑥				
キャリア教育部	キャリア教育	・全体計画に基づいて、小中高の発達段階に応じた学習活動がさらに系統的につながりをもって指導できるよう研修を深める。 ・進路に関する情報や知識を深め、卒業後の生活をより豊かで自分らしい生き方の実現に向けて支援する。 ・卒業生への支援を効率よく実施し、必要に応じた適切な支援をしていく。	・キャリア教育全体計画を踏まえ、各部の発達段階を考慮した「いいとみキャリア・パスポート」の作成・活用を行い、系統的な指導の実践、工夫、改善を図る。 ・生徒の実態や希望を踏まえ、関係機関と連携しながら、より豊かな生き方、進路選択ができるよう職場開拓、連絡調整をするとともに、保護者や教職員に対して分かりやすく、情報提供、理解啓発を行う。	②④⑤⑥⑱ ⑲		
	卒業生支援	・進路先からの相談に対応できるように必要な資料の作成と整理を行う。また、実施計画に基づいた卒業後支援を行うとともに、必要に応じて、関係者・関係機関と連携して適切な支援をしていく。	⑲			
		・コロナ禍の情勢を踏まえながら、いいとみ卒業生の会としてのレクリエーション事業の方向性を示し、臨機応変に対応する。	⑲			

生徒指導部	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の緊急事態等に対して迅速にかつ適切な対応ができるように務める。 ・豊かな心の育成といじめ対応を図る。 ・安全でスムーズなスクールバスの運行及び安全教育を重視した通学指導に努める。 ・健康で明るい生活を送るために心と身体の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の緊急捜索や校内に侵入した不審者の対応について、職員間の役割等を明確にし、速やかに、臨機応変に対応できるようにする。スムーズに活動に移行できるように緊急捜索、マニュアル等の見直し改善を常に図る。 	⑧⑨⑫		
	通学指導		<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな児童生徒の育成といじめ対応を図るための環境整備や組織的な連携を行う。 ・児童生徒の社会的自立に向けた通学に関する指導を定期的に行う。 ・放課後デイサービス業者との連携を図りながら、安全に児童生徒の受け渡しを行う。 	①②⑥⑪⑰	②④⑤	
	スクールバス		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なスクールバス運転手、乗務員との連絡やスクールバス委員会を行うことで交通状況に応じたスムーズで安全で安心な運行ができるようにする。 ・必要に応じて、児童生徒の車内の様子について乗務員、係、担任で情報交換をして安全に乗車できるようにする。 	⑫⑮	⑫⑮	
	部活動		<ul style="list-style-type: none"> ・運動部の長距離走では、記録を計測し、年度当初の記録の向上を意識して主体的に取り組めるようにする。 ・音楽、美術（パソコンと絵画クラフトの2つに分けて、どちらか1つを1年間継続）伝統文化(今年度は中止)の3分野に絞ることで、継続した活動にし、技術の定着を図る。 ・活動内容を生徒自身が考えることで、主体的に活動ができるようにする。そのために、活動のイメージがもてるように支援（教材、pp等）をする。 ・作品は各種作品展へ出展する。始業式、終業式等では、校歌の伴奏を行う。 	④⑤⑩	②③⑤⑥	
渉外部	本部係	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動において保護者の主体的な活動を支援し、学校及び家庭における教育に関し理解を深めその振興に努める。 ・各種団体等に積極的に参加し、本校の理解啓発に努めたり、教員の専門性の向上に努めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA運営委員会を各保護者の意見の場として捉え、積極的に意見交換が行えるような環境づくりに努める。 ・活動の報告をPTAだよりにて周知し、理解が深められるよう努める。 	⑰		
	常設委員会係		<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動における保護者や地域の方々の安全・安心に十分配慮した上で、活動内容の可否を検討・判断し、本部係と連携して適切な企画・運営を行う。 	⑰		
	各種団体		<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県高等学校文化連盟特別支援学校部門大会やアートエキシビションの運営に努める。 ・本校児童生徒や地域の方々への芸術文化活動における理解推進に努める。 	⑳㉑		
	特推進		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等を通して、特別支援教育に関する教員の専門性の向上を図る。 ・会員が主体的に研修に参加できるよう、多面的な視点から分科会の企画運営を行い、準備を進める。 ・関係団体相互の連携及び情報の交換等によって、障害のある子どもの教育及び福祉のさらなる振興充実を図る。 ・ナイスハートふれあいフェスティバルの運営に携わり、綿密な計画を立て円滑に遂行できるようにする。 	⑯	⑳㉑	
小学部	1 基本的な生活習慣 生活リズムを確立し、日常生活に必要な生活習慣を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で規則正しい生活において、日常生活に必要な基本的な力を取得できるようにする。 ・自分から活動する習慣と一人でできることを増やせるようにする。 	①②④⑤⑥⑫	①②④⑥		
	2 コミュニケーション 人とのかかわり合う楽しさを知り、適切なコミュニケーション力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師とのかかわりや様々な集団活動を通して、人とのかかわる心地よさや自分から思いを伝えようとする気持ちや態度を育てられるようにする。 ・生活のルールや約束を守ることの大切さを知り、人とより良くかかわることができるようにする。 ・交流（学年間、各部間、学校間）及び共同学習や居住地校交流を通して、いろいろな人とのかかわりの楽しさをあじわえるようにする。 	①②④⑦⑧	①②④⑦⑧	⑤	
	3 キャリア教育 好きなことや得意なことを見つけ、進んでものごとに取組むことのできる態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア発達を考慮し、教師や友達と一緒に活動し、自分の役割が分かり、責任をもって取組むことのできる力を育てられるようにする。 ・将来の自立と社会参加に向けて、保護者と連携して教育活動を推進するため、授業参観や個別面談等、進路だよりを通して「小学部段階で育てたい力」について共通理解を図れるようにする。 	④⑤⑥⑬	⑤⑯		
	4 教科学習 日常生活に必要なことばやかず等の学びの基礎力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なアセスメントを通して、児童の障害の状態や発達段階を把握し、個に応じた指導・支援を行えるようにする。 ・児童が自ら気付き、考え、取り組めるように、授業における授業づくり、支援ツール（教材教具）等について、より一層の工夫に努めるようにする。（ICT機器の活用） 	①②⑤⑥	③④		
	5 体力・情操 進んで運動する習慣の形成に努め、健康で丈夫な身体づくりをするとともに、豊かな感性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・種々の遊びやいろいろな運動、集団でのゲームを通して、身体を動かす楽しさを知り、自ら取組む意欲を育てられるようにする。 ・身の回りの事物や出来事に関心をもち、楽しみながら音楽や造形等の表現活動に取り組むことができるようにする。 	①②⑩⑫	①②⑤⑥		
小学部 第1学年	基本的な生活習慣・学習態度を身に付け、教師や友達と一緒に様々な学習や活動に取り組む意欲を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことについて自分一人でできることが増やせるよう、家庭と連絡・連携を図りながら、個に応じた段階的な指導を行う。 ・学習について興味・関心をもち、意欲的に取り組むことができるよう、授業づくりや教材・教具、かかわり方の工夫に努める。 	①②④⑥⑬	①②③④⑥⑧		
小学部 第2学年	日常生活の指導に必要な基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、教師や友達とのかかわりながら生き生きと学習や活動に取り組む態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことを自分で行うことができるように、保護者との連携を図りながら、個に応じた段階的な支援を行う。 ・児童の興味・関心を広げ教師や友達とのかかわりの中で、意欲的に学習に取り組むことができるよう、教材・教具やかかわり方、場の工夫・改善に努める。 	①②③④⑥⑯	①②③④⑥⑧		
小学部 第3学年	集団活動を通して、基本的な生活習慣の定着を図ると共に、自ら進んで学習や活動に取り組もうとする力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りの事や、係・当番の活動を通して、相手の話を聞き自分の意思を伝えながら行動する場面や、自分で考えて取り組める場面を設定する。 ・学習への意欲や好奇心を高め、「できた、もっとやりたい」を引き出す学習内容の設定や教材の工夫に努める。 	①②④⑤⑥⑦	①③④⑥⑦⑧		

小学部 第4学年	集団活動を通して、友達と適切にかかわる方法を身に付けたり、自分の役割や活動に進んで取り組む態度を育てたりする。	・日常生活全般や各教科の学習において、他者との適切なかかわり方について考える場面を設定したり、好ましいかかわり方の手本を示したりする。	①②③④⑤ ⑥⑦⑧		
		・児童が自分で考え、気付き、取り組めるよう、学習内容や課題の提示の仕方、教材教具の工夫に努める。	①②③④⑤ ⑥⑧		
小学部 第5学年	集団活動を通して、生活のルールや役割の大切さを理解し、児童同士で相談、協力しながら活動に取り組む態度を育てる。	・日常生活全般や各教科で児童同士が相談、協力して活動する場を設定し、生活の中で生かす機会を増やす。	①②④⑤		
		・いろいろな集団の中で、ルールや役割のある活動を通して、達成感や満足感を味わえるような授業づくりや教材教具、かかわり方の工夫、改善に努める。	①②③④⑤ ⑬		
小学部 第6学年	集団生活を通して豊かな人間関係を築くとともに、自分の役割が分かり取り組むことができる力を育てる。	・相手の年齢や性別等に応じた他者との適切なかかわり方を身に付けられるよう、指導と働きかけの工夫、改善に努める。	①②④⑤		
		・自分で考えて行動したり、友達と助け合ったりしながら課題を解決することで、達成感や成就感を味わえるような機会や場を設ける。	①②④⑤⑥ ⑬		
中学部	1 基本的な生活習慣 身辺処理や保健安全など、生活に関する基本的な生活習慣をより一層高める。	・身の回りことを自分から行おうとする意識を高め、習慣化を図るとともに定着できるようにする。	①②④⑤⑥		
		・場の状況に応じた身だしなみやマナーを意識して行動できるようにする。	①②④⑤⑨ ⑩		
	2 コミュニケーション 集団生活における適切な態度や協力して活動する姿勢を養う。	・集団活動における適切な態度を身に付けるとともに、人とのかかわり合いながら生活する力を高めることができるようにする。	②④⑤⑥⑭		
		・集団における人とのかかわり合いを通して、協力して活動する中で、達成感や満足感を味わうことができるようにする。	②④⑤⑥⑭		
		・地域との交流活動を推進し、様々な人たちとのかかわり合う力を養うことができるようにする。	⑤⑭⑰		
	3 キャリア教育 夢や希望を見つけるとともに、その実現に向けて必要な基礎的スキルを育てる。	・キャリア発達を考慮した上で、「働くこと」に関する体験学習の機会を多く設定することで、職業に関する知識の習得や将来への夢や希望をもつことができるようにする。	①②⑤⑬		
		・保護者に対しては進路懇談会等を実施し、進路についての意識を高めるとともに、課題を共有することができるようにする。	⑮⑰		
	4 教科学習 主体的に課題に取り組み、社会生活に必要な基礎学力の向上を図る。	・保護者との連携を密にすることで、生徒の課題やニーズを的確に把握し、生徒一人一人への指導の充実や支援の工夫を図る。	①②④⑬⑮ ⑰		
		・ICT機器の活用を通して、生徒が主体的に学べる環境づくりを促進する。	②③⑬⑭		
	5 体力・情操 丈夫な体と豊かな情操をもった心と体づくりに努める。	・課題に即した運動等とおして、健康の保持や体力の向上を図るとともに、運動に親しむ態度や集団で運動を楽しもうとする意欲を育むことができるようにする。	②⑥		
・思春期における心身の変化を考慮し、音楽や美術における鑑賞等を通して、自他を尊重する気持ちや態度を育むことができるようにする。		②③			
中学部 第1学年	中学部の生活に慣れ、学習活動に見通しをもって、主体的に取り組むことができる。	・アセスメントを十分に行い、一人一人の実態や特性を把握し、個に応じた支援の工夫・改善を図る。 ・達成感や充実感を得られるよう、実態に応じた意欲を引き出すような目標設定や教材、支援の工夫などを行う。	①②④⑩ ⑬⑮		
	情緒の安定を図り、集団の中で様々な活動に最後まで取り組めるようにする。	・見通しを持ち、落ち着いて活動に取り組むことができるように、教室環境や活動の流れの構造化を工夫・充実させる。 ・友達とのかかわり合いながら活動する場面を多く設定し、仲間意識を育てられるようにする。	②⑧⑭ ⑮⑰		
中学部 第2学年	基礎的な学力や丈夫な体、集団生活において協力して活動しようとする姿勢や態度を育てる。	・十分なアセスメントにより一人一人の実態を的確に捉え、実態に応じた支援の工夫を図る。 ・学級や学年、さらには他学年の友達とのかかわり合い、協力して学習活動に取り組めよう、支援の充実を図る。	①②③④⑤ ⑥ ⑬		
	自分の役割を知り、主体的に学習活動に取り組めるようにする。	・部や学年の学習活動を通してキャリア発達を促し、自分の役割に気付き主体的に取り組めるよう、学習環境の工夫や授業づくりを行う。	②④⑤⑭		
中学部 第3学年	基礎学力の向上と体力の増進を図り、集団で協力して活動しようとする態度を育てる。	・十分なアセスメントにより、個に応じた支援の工夫と充実を努め、学力・体力の向上を図る。 ・学年や学部の友達とのかかわりながら集団で学習・活動する機会を設定し、支援の仕方を工夫する。	①②③⑩⑫		
	自分の進路について考え、基礎的スキルを育てる。	・高等部の見学や体験、職場体験を行い、職業についての知識や態度を身に付けることができるようにする。	④⑤⑥		

高等部	1 基本的な生活習慣 自立した生活に向けた生活習慣の確立とそれに必要な知識・技能を高めて定着を図る。	・学校生活の手引きを活用し、集団生活をする上で決まりを守ることの大切さを知り、学校生活や社会参加に必要な生活習慣を身に付けることができるようにする。	①②④⑤⑥ ⑫		
		・日常生活をする上で必要なスキルを身に付け、自ら考えて身に付けた知識や技能を発揮できるようにする。	①②⑤⑥		
	2 コミュニケーション 卒業後の円滑な社会生活・職業生活を送るためのコミュニケーション力を育てる。	・社会の一員として、あいさつや返事、報告や質問等の基本的な行動や態度の定着を図ると共にそのスキルを高められるようにする。	④⑦⑫		
		・様々な人とのかかわりの中でお互いの立場や考え方を理解し、適切な対応ができる力を身に付けられるようにする。	⑤⑫		
	・地域貢献活動等、地域で活動する学習を通して、主体的に地域で何ができるかを考え、活動するための経験の拡大を図るようにする。	⑤⑫⑫			
3 キャリア教育 将来像の実現化に向けて、知識・技能・態度を身に付ける。	・作業学習、職業教育を通して自己理解、進路選択ができるようキャリア発達の視点を踏まえて必要な知識・技能を身に付けることができるように指導・支援を行うようにする。	②④⑧⑫			
	・個に応じた進路選択ができるよう進路情報の収集に努めると共に保護者への情報発信を行い、保護者と連携した進路指導ができるようにする。	⑤⑫			
4 教科学習 これまでに培ってきた学力を応用し、社会生活の中で生かす力を養う。	・生徒一人ひとりが身に付けた力を生活の中で発揮できるように、保護者と共通理解を図り、学校と家庭が連携して継続した指導の実践ができるようにする。	①②⑥⑦⑧			
	・調べ学習や体験的学習など様々な学習において、タブレット端末を積極的に活用することで、学習の充実を図り、興味をもって学習に取り組むことができるようにする。	①②③⑥			
5 体力・情操 社会生活に必要な豊かな心と健康な体づくりに努める。	・体育や部活動(運動部)を通して体力作りに努めると共に、健康への意識を高めながら、生涯スポーツにつなげられるようにする。	①②⑩⑫			
	・生活年齢や生徒の興味・関心に応じた豊かな情操を養い、余暇活動(文化部を含め)の充実を図るようにする。	①②④⑤			
高等部 第1学年	友達と協力して活動できる集団作りが築けるようにする。	・楽しく充実した学校生活を送ることができるような学級及び学年作りに努めるなかで、学校生活の意義を理解し、生徒同士が協力して活動できるような場面設定を多用する。	①②④⑦		
	働くことに興味をもち、進路を意識して学習に取り組むことができるようにする。	・作業学習や校内実習等を通して、自分の将来について主体的に考えることができる基礎を作るための授業実践に努める。	③⑥		
高等部 第2学年	お互いを尊重し合い、支え合いながら切磋琢磨し合える集団作りに努める。	一人一人の長所、短所をお互いに認め合い、生徒同士が協同する活動を多く設定する。	②⑤⑥⑭		
	学校生活を通し、自分の進路について考え、課題解決に取り組めるようにする。	各授業の学習内容を関連させて行い、生徒自ら進路について考えたり、挑戦したりしようとする授業作りに努める。	⑤⑬⑭		
高等部 第3学年	互いを認めて尊重し、協力し合える集団作りを行う。	・集団生活を通じて、互いを認め合える関係づくりが構築できるよう、学校生活における学級や学年の集団での場面を設定する。	①②⑥⑧⑩		
	自分で進路を選択し、それに向けて努力できるようにする	・職業の時間や現場実習を通して、自分の適性について考え、生徒が自分に合った進路について考えて選択することができる授業づくりを行う。	④⑤⑥⑮		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない